

ひらどに 住もう!

心温もる ほっこり 平戸暮らし



平戸ってどんなところ？

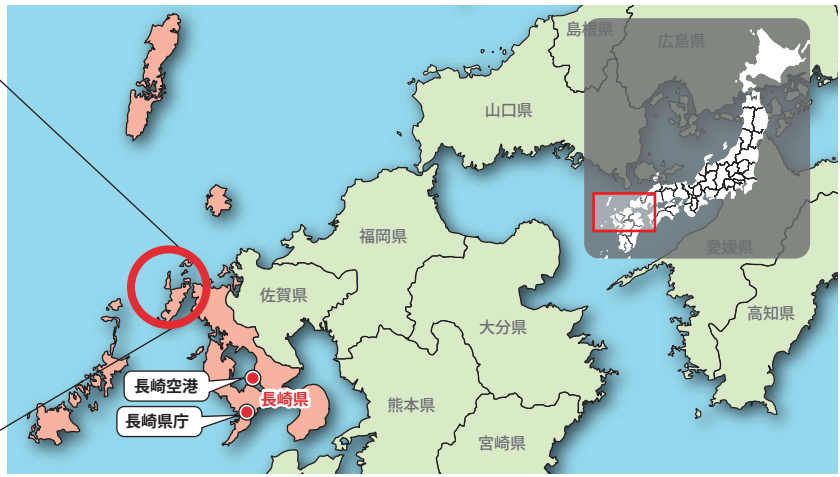
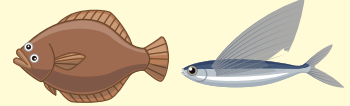
長崎県の北西に位置する平戸市は、日本の陸路(離島除く)の最西端に位置し、大きく分けると「平戸島」「生月島」「的山大島」「度島」「田平(九州本土側)」から成ります。

古くから平戸では海外貿易が盛んに行われ、東アジアやヨーロッパ(オランダやイギリスなど)との深いつながりをもち、「西の都」と呼ばれ栄えたこともありました。先人たちから受け継いだ歴史や文化、今なお残る美しい自然や美味しい幸(食材)のそれぞれが「宝」となって今の平戸を支えています。

あなたが探している「宝」を平戸で見つけてみませんか？

【人口】29,211人 【世帯数】13,756世帯(2022年12月1日現在)

【主要産業】農業・漁業・観光業 【特産物】平戸牛・いちご・アスパラガス・菌床しいたけ・ヒラメ・アゴ(トビウオ)



平戸のよかところ

平戸のシンボル！

平戸島は九州本土と「平戸大橋」で、生月島は平戸島と「生月大橋」でつながっています。車移動の多い市民の生活において、欠かすことのできないものとなっています。また橋を渡る時の景観は素晴らしいものがあります。



野菜や魚が新鮮！

農業や漁業がさかんな平戸市では、毎日新鮮な野菜や魚を購入することができます。直売所をめぐる、平戸の四季折々の産物を楽しみましょう。

自然が豊か！

平戸には、海・山・川と手つかずの自然がたくさん残っています。緑に囲まれ、澄んだ海と空を見ながら、穏やかな生活を過ごすことができます。特に、九州でも有数の釣りスポットとして人気の平戸には、例年多くの方が訪れています。



生活

気候と暮らし

平戸市は周囲のほとんどが海に囲まれており、温暖な気候です。大きな活断層が近くにないため、地震は少ないですが、台風は接近することが多いです。防災行政無線個別受信機を全世帯に整備するなど、防災に対する取り組みをしています。

- 地震が少ない
- 気温の変化はおだやか
(年平均気温16.5℃前後)
- 平均湿度 75.0%



買い物

各地域にスーパーや直売所があり、生活には十分なお買い物ができます。

- スーパー 21ヶ所
(地元密着スーパー含む)
- コンビニ 14ヶ所
- ホームセンター 6ヶ所
- ドラッグストア・ディスカウントストア 4ヶ所



(令和4年現在)

病院

市内には地域に根差した病院、診療所、歯科があり、地域ならではの丁寧な診察を行っています。休日は市内の病院が交代で対応しています。

- 一般病院: 7
- 一般診療所: 9
- 歯科診療所: 13



(令和4年現在)

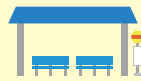
市内の学校・保育施設

保育園から高校まで、各地域にあります。小学校は、地域によってスクールバスで通学しています。

- 保育園: 11
- こども園: 6
- 幼稚園: 1
- 小学校: 15(うち1校は小中学校)
- 中学校: 7
- 高校: 3(うち1校は農業学校)



(令和4年現在)



インフラ

交通

平戸市内全域に路線があります(中南部地区はコミュニティバス)。田平地区にはバス路線に加え、松浦鉄道があります。しかし、いずれも便数が少ないため、ほとんどの方が自家用車を所有しています。的山大島、度島へは平戸桟橋発着のフェリーが運航されています。

道路

平戸を縦断する道路は整備されていますが、横道など車一台通るのがやっとの細い道もあります。直線道路は少なく、その分距離を走ります。

通信

平戸市内全域で「光インターネット回線」が利用できます。

ライフライン(電気・水道・ガス)

【電気】都市部と変わりなく利用することができます。
【水道】上水道は市内全域で整備されていますが、下水道は整備されている場所は少なく、多くが汲りかか各建物に合併浄化槽を設置しています。そのため下水処理に対する費用が都市部と比べると必要となります。
【ガス】都市ガスはなく、プロパンガスです。



暮らし

平戸市では、移住・定住される方に様々なサポートを行っています。

①住まい

※詳しくはこちら→



移住・定住を促進し、本市へ移住・定住される新規転入者の住宅取得費や改修費用、引越費用などに対し、補助金を交付します。

新規転入者住宅
取得支援事業
最大 **200万円**

移住費用
支援事業
最大 **20万円**

中古住宅改修費用支援事業
最大 **50万円**

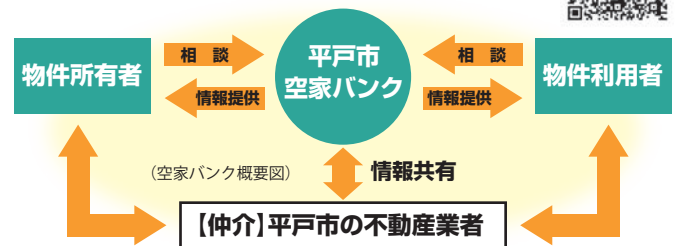
Uターン者促進住宅改修支援事業
最大 **30万円**

②空き家バンク

※詳しくはこちら→



情報を提供するため『空き家バンク制度』を設けています。



③お試し住宅

※詳しくはこちら→



最大1ヶ月の居住体験ができるお試し住宅があります。利用料無料で家具、家電が備えてあります。平戸市の魅力ある生活を実際に体験してみてください。

【対象者】平戸市に移住を希望、検討される人(旅行は不可)

【利用期間】1週間以上～1ヶ月

【利用料】無料。ただし、光熱水費は利用者にて別途契約、お支払いいただきます。

【その他】利用申込書をご提出いただきます。寝具は準備しておりません。

● 薄香住宅(6DK) Point!!



■ 港の目の前にある物件です。

● 木引田住宅(4DK) Point!!



■ 徒歩圏内に商店街があります。

● 度島住宅(7DK) Point!!



■ 平戸本島からフェリーで渡ります。

働く

平戸市にはどんな仕事がある？

平戸市は高齢者人口が多く、医療や福祉関連の雇用が拡大しています。また世界遺産登録による観光需要の高まりから、ホテルや飲食店の求人は増加傾向です。豊かな自然が残る平戸市では農業や漁業も盛んです。

★起業される方

平戸市では新規で農業・漁業の他、事業を開始する方向けに様々なサポートを行っています。

【農業】平戸式もうかる農業実現支援事業

市内において専業農家を目指し、新たに農業経営に取り組む方を支援します。

※詳しくはこちら→



【漁業】平戸市次代を担う漁業後継者育成支援事業

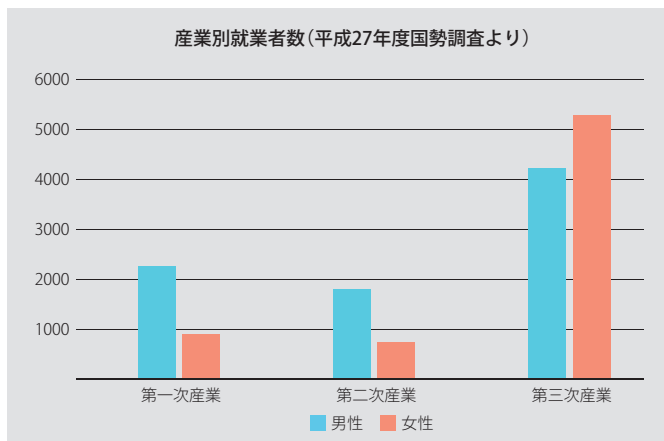
市内で漁業就業を希望する漁業未経験者の方への漁業のお試し研修、漁業就業を目指す方に対しての実践研修、漁業経営を開始した方への研修制度を設け、支援します。

【商工業】平戸市創業支援事業

創業に必要な設備投資に要する経費の一部を補助します。

★就職される方

平戸市最寄りの佐世保市江迎町にある「ハローワーク江迎」では、平戸市、佐世保市北部、松浦市、北松地域の求人情報が取り扱われています。また、平戸市内でも巡回相談会を月に2回開催しており、無料で何度でもご相談いただけます。



育てる

平戸市では子育てしやすい環境が整っており、充実しています。

● 待機児童ゼロ

※詳しくはこちら→

平戸市では各地域に保育施設があり、待機児童ゼロを実現しています。学童保育も各地域にありますので安心です。



● 保育料の軽減

3歳児クラス以上のお子さんは原則無料です。生計同一世帯において第2子目を半額、第3子目以降にあたるお子さんの保育料は無料です。副食費については、国基準の免除対象以外であっても市の施策として月額4,500円まで免除します。

● 乳幼児・子ども福祉医療費制度

0歳から中学校修了までお子さんの病気やけがなどの医療費の一部を助成します。医療機関ごとに、ひと月につき診療日数1日800円、2日以上1,600円までの負担となります。

● 育児用品貸出事業

赤ちゃん用ベッド、体重計、お風呂、チャイルドシートを無料で貸し出します。

● 市内施設の充実

図書館は市内に6ヶ所と各地域にあり、どなたでも利用することができます。「シーライフひらど」は温水プールを備え、大人から子どもまで一年中楽しめる施設となっています。また、当施設では水泳教室が開催されており、幼児(年長)コース・小学生コース・中学生コースがあります。



先輩移住者のリアルな声



小池さん 様家族

漁師になりたい

神奈川県内で定置網の漁師を10年した後、5年間沖縄県の宮古島で生活していましたが、ずっと漁師に戻りたい気持ちが強くありました。移住先を探す中で、居住環境や定置網漁が多くある平戸は自分にピッタリでした。

子育て環境

こどもの通う小学校では保護者や先生たちの距離が近く、保護者同士もみんなで子育てをしようという繋がりがあって心強いです。

今後の夢

(ご主人) 生月で漁師を続けていけたら本望です。厳しい仕事ですが、好きな仕事だし、周りの人もみんな頑張っていますから。

(奥様) 焼き菓子の移動販売で起業していますが、これからも新しいことにチャレンジしていきたいです。街でない田舎でも生きていける！と一人ひとりが考えられるようなことをしていきたいです。

趣味を楽しめる

移住を検討する中でインターネットで見た平戸が綺麗で来訪しました。実際の景色はとて綺麗で食事美味しく、住みたいなと思いました。海があり、自然があり、釣りや散歩に出かけられる環境が自分達には合っていました。

家を見つける

不動産業者の物件も探しましたが、市の空き家バンク制度を利用し、購入しました。市が情報提供している安心感や信用があり、いきなり不動産業者を訪ねていくより安心できました。移住者向けの補助金制度を活用でき有難かったです。

就職先を探す

前職と違う仕事をしてみたい気持ちもありましたが、都会のように求人数や職種が多くはないので同じ職種の企業へ就職しました。収入のギャップもあるので、近隣市への就職も視野に入れ、ハローワーク等で情報収集してから移住時期を検討するとよいと思います。



高木さん 様家族



三浦さん 様家族

自然だらけが気に入った

住んでいた新宿区は人が多く、物が溢れていることに少し疲れを感じ、いつかは田舎暮らしをしたい気持ちがありました。「お試し住宅」を利用して、海と緑がいっぱいで景色も綺麗なこと。住みやすそうで自分達には合っている、ここに住んでいけると肌で感じて移住を決めました。

二人で一緒に仕事がしたい

青果市場でのイベントや地産マルシェへ出掛けたことをきっかけに野菜の新鮮さを知り、農業へ興味を持ちました。就農についての情報収集や相談を重ね、新規就農者への支援制度を活用し、研修期間を経て、アスパラ農家への本格的な準備に入りました。健康に気を付けながら生涯、農家が出来たらと思っています。

移住を検討される方へ

都会とは違い、地域の習わしや人との交流があります。良くも悪くも先入観を捨てて、柔軟な気持ちを持っていると生活しやすいと思います。

平戸に来てよかったこと

- 新鮮でおいしいものがすぐ手に入り、価格も安い。
- ご近所さんや知り合いから魚や野菜をいただく。
- 景色や環境が良い。
- 趣味の時間をもてるようになった。

平戸に来て困ったこと

- ガス代が高いことやゴミ代もかかるので驚いた。
- ムカデなどの虫に刺されたり、イノシシなどの野生動物が多い。
- バスの本数が少ない。
- 坂が多く、自転車に乗れない。
- 車の維持費がかかる。

①きっかけから移住までの期間 ②移住するまでの来訪回数

(小池さん)①3ヶ月②2回

(高木さん)①7ヶ月②3回

(三浦さん)①約1年②2回

平戸市までのアクセス



■福岡空港から

●車で約2時間

(福岡空港→空港通りIC→福岡都市高速道路/福重JCT→西九州自動車道/松浦IC→国道204号線→平戸)

●公共交通機関で約3時間30分

(福岡空港→佐世保バスセンター→西肥バス/平戸栈橋)

■長崎空港から

●車で約1時間40分

(長崎空港→大村IC→西九州自動車道/佐々IC→国道204号線→平戸)

●公共交通機関で約3時間

(長崎空港→佐世保バスセンター→西肥バス/平戸栈橋)

■佐賀空港から

●車で約2時間

(佐賀空港→武雄北方IC→西九州自動車道/佐々IC→国道204号線→平戸)

暮らしのQ&A

Q 生活コストは？

A 高くなる部分もありますし、安くなる部分もあるようです。例えば、市内では車を所有されている方がほとんどで、一家に車2台は当たり前ですし、その分ガソリン代やメンテナンス代がかかります。一方で、畑でとれた野菜や海の幸などをご近所さんからいただいたり、自分で野菜を育てたり、魚釣りをされる方も多いので、その点では安く済むこともあります。コストではない「平戸の魅力」を求められる方に、平戸暮らしをおすすめします。

Q 地域に馴染めますか？

A 田舎暮らしでは隣近所はもちろん、地域のつながりが強いものです。最初はどんな方がいるんだろうと不安な気持ちだと思いますが、それは地域の方も同じです。積極的に地域の行事に参加したり、つきあいが深くなるといただきものをする機会も増えてくるので、何かしらのかたちでお返しをするなど、近隣同士のつながりを豊かにしていくことが大切です。

平戸暮らしの一口メモ

住む家はしっかり検討を…

移住を考える中で、まず最初に住む家を探したいと思います。平戸市では空き家バンク制度があり、こちらを通じて家を購入・賃借される方も多くいらっしゃいます。物件の状態により、都市部に比べて比較的安価で設定されていますが、安いには安いなりの理由もあります。また、家は一度購入すると簡単に手放すことができません。購入される場合には、十分にご家族で考え、話し合うことがとても大切です。家族全員が納得した上で進めてください。

方言が強い！

平戸の中でも地域により独特の方言やイントネーションで話される方がいらっしゃいます。特に平戸では早口で話される方も多く、聞き取れず理解できないことがあります。もしわからないときは、素直に「わからない」と初めに言ってしまうのも一つの手です。

【発行・お問合せ先】

平戸市役所 企画財政課 移住・定住政策班
〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1508番地3
TEL 0950-22-9105
E-mail teiju@city.hirado.lg.jp